

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・気温が高くなってきて、行楽に出かける客が来店している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・前年と比べて異動マーケットが盛り上がっている。白物、黒物家電共に、好調に推移しており、前年比107%で着地している。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・新生活関連商材が前年比110%で好調に推移している。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・経費で落とせるようになったのか、領収証を発行してほしいという客が少しずつ増えてきている。
		都市型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・今月前半は、客室工事により一部販売制限を行ったが、中旬以降は団体予約を中心に、例年並みで堅調に推移してきている。
		旅行代理店（経営者）	単価の動き	・客の宿泊単価が上昇傾向にある。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・来月よりデスティネーションキャンペーンがスタートする。地元の受入環境も盛り上がり始めており、メディアでの露出も増えてきている。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・通信業界は今月が年間で最も売れる月のため、来月につながるわけではない。
		通信会社（局長）	来客数の動き	・事務所を移転した影響もあるが、来客数がここ3か月で伸びている。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・当ゴルフ場は天候に左右されやすいが、今月は天候に恵まれ、来場者が前年同月比プラス200名、1,500名となり、良好に推移している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街内に新たにコンビニがオープンした。その後すぐに、既存のコンビニも改装オープンし、両コンビニの競争で数日間は人の動きが目立っている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は桃の節句もあり、良い気候になってくると思ったが、気候不順である。暖かい日で桜の開花が早くなると思うと、今度は雷雨や雪があり、客も外出を控えている感じである。各業種とも、売上が下がっている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・来客数、販売量共に厳しい状況である。比較的堅調に推移してきた高額品の動きが鈍い上、オケージョン消費も振るわない。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・客の来店数に大きな動きがない。購入意欲も同様である。
		百貨店（副店長）	販売量の動き	・商品により動向の明暗が分かれている。例えば、化粧品など婦人雑貨は好調であるが、婦人服は基調の改善に至っていない。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・3か月前の売上は非常に好調で、1～2月に少し落ち込みはあったものの、今月に入り食品、衣料、住居用品の全てで、売上、来客数共に、前年比を上回っている。ショッピングセンター全体でも非常に好調である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年は4週間続けて、揚げ物類の特売セールを行ったので売上が伸びていたが、今年はその分の落ち込みが大きい。おにぎり、揚げ物商材等の特売セールに敏感な客が増えてきている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・年度末なので新車などの販売を期待していたが、逆に販売台数が前年より少し落ち込みそうである。車検、点検などの整備売上が堅調なことが救いである。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・今月に入り、営業関係の新車、中古車の売行きが極端に落ちている。また、車検等の在庫も少し減っているようで、全体的に販売、車検件数が減少している。原因を探っているが、今のところ分からない。
		自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・3か月前と総量的には売上などは変わらないものの、客の来る時期や人数が、極端に少なくなったり、集中したりと、読めない状態がここしばらく続いている。
	住関連専門店（仕入担当）	お客様の様子	・今月前半は寒さが継続し客の出足も鈍く、消費も連動して悪かったが、中旬から後半にかけての急激な気温上昇に伴い、園芸、レジャー用品を中心に客足が回復している。前半の悪さを後半で相殺する形となっている。	
	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	単価の動き	・天候の良しあしで来客数が増減している。値頃感のある商品に、動きが出てきている。	

その他専門店 〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・受注は減少傾向で、受注残も同様に推移している。
その他小売 〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・来客数は前年並みを維持していても、買上率、客単価、買上点数共に減少傾向で、節約志向に拍車がかかっている。特に、アパレルを始めとした物販が厳しい一方、飲食、サービス、アミューズメントは安定している。
都市型ホテル （営業）	来客数の動き	・今月は、前年発生した大手企業の不祥事、改ざん問題等により、宴会等が自粛されたため、厳しい状況となっている。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・財布のひもが固い。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は送別会の時期で、例年であると忘年会と同じくらい動くのだが今年は少ない。週末は多少動いたが、深夜が全然ない。1次会でお開きとなるケースが多かったようである。
タクシー（役員）	お客様の様子	・乗務員不足が深刻である。
テーマパーク （職員）	来客数の動き	・来客数の動きが気温の寒暖差に左右され、今月下旬の暖かさで少しずつ回復している。依然として、上向き傾向にまでは至らない。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほとんど変化がみられない。
その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・車検整備や法定点検の検査、点検結果を客に説明しても、なかなか整備につながらない。安全性や近時の不具合予測は理解しても、出費の面でブレーキがかかり、車検に合格する最低限の整備のみ受けている。安全性には関係ないが、愛車の外装傷の修理も、簡易修理を求める客が増えつつある。修繕に大きなお金が掛かる時は車を買換えるとは言っている。
その他サービス 〔立体駐車場〕 （従業員）	お客様の様子	・来客数、単価、販売量いずれも横ばいである。野菜等の価格高騰により、身の回り品、買い回り品なども、必要な物だけを買うという状況が続いている。
その他サービス 〔イベント企画〕（職員）	お客様の様子	・依然として動きは変わらない。
設計事務所（所長）	それ以外	・当社の状況は相変わらずである。地元建築会社の営業担当の話では、「次年度の公共工事は大幅に減少するが、それに見合う民間案件がほとんどない」とのことである。
設計事務所（所長）	お客様の様子	・客からの注文が増えていない。同業他社でも忙しい様子はない。
住宅販売会社 （経営者）	競争相手の様子	・今月は年度替わりのせいか、アパート、マンション等の成約がいくつかあった。ただし、店舗等は依然として沈滞している。土地も安い物件は、ちらほら引き合いが増えてきている。
一般小売店〔衣料〕 （経営者）	販売量の動き	・良い天候が続いており、観光客は結構歩いているが、街に来るだけである。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・来客数もさることながら、レジを通過する買上客が減少している。以前にも増して、不要不急な物は買わないというシビアさが目立ってきている。その場の雰囲気や勢いで衝動買いすることにはほとんど期待できない状況である。
スーパー（商品部担当）	単価の動き	・一部商品の値上げもあるが、全体的に消費者の価格訴求の傾向は変わらず、単価下落が続いている。価格を下げた分を補うほどには、買上個数が上がらないため、売上苦戦が続きそうである。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・3か月前はクリスマスケーキ、おせち等、単価の高い商材が多く、それと比べると今月は単価の面でやや悪い。
コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・競合店の進出で、やや悪くなっている。
乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・決算期の今月は中旬を過ぎると、受注が減少する。
その他飲食〔給食・レストラン〕 （総務）	それ以外	・国内外の政治的要因に振り回される形で、株価や為替等が大きく変動している。特に、為替の変動は、内需型産業への影響が懸念されるため、足元にすぐ影響が出るわけではないものの、今後の経済情勢への影響は出てくる。

	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・3か月前の12月の稼働と比べ、いつも今月はそれなりに良いはずだが、余り伸びていない。理由は明確ではないが、例年と比較しても少し低調な稼働である。
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼も夜も動きが悪く、前年同月比で12%の減少である。
	通信会社(社員)	それ以外	・解約件数が増えている。
	ゴルフ練習場 (経営者)	単価の動き	・客は必要な物にだけお金を出している。出費にシビアになっている。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・1か月の間には忙しい日もあるが続かない。むしろ4~5年前の売上の悪い日と現在の良い日が同じなのではないかと感じたりもする。よくいわれる地方と中央の2極化を実感している。諦めるしかないのか。
	x 衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・今月は過去最低で、客の動きが全くないというくらい最悪の状況である。このままだと店の存続も危ういくらい悪い。あの手この手と打つ手は打っているが、効果がなかなか現れないくらい、皆慎重な動きである。
	x 通信会社(経営者)	販売量の動き	・年度末だが飛び込みの仕事もなく、地方では補助事業さえ動いていない。
	x 美容室(経営者)	来客数の動き	・経済構造の変化についていけない小売店は軒並み閉店し、地元スーパーも大手ディスカウントストア林立の影響で客足はまばらである。
企業 動向 関連 (北関東)	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前年比2~3割は落ちるかと思込んでいたが、1割程度にとどまった。前年並みである。
	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・一般的に仕事量が拡大し、協力工場に依頼しているものの、納期どおりに仕上がらない状況が頻発し、調整に苦労している。
	輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車の北米輸出が、引き続き増加傾向である。
	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・当社の3本柱の1つである太陽光発電は、新規開設箇所の発電でやや良くなっている。この他の主力業務である環境装置のリース、レンタルは安定しているものの、当社業務全体ではやや下がっている。
	建設業(開発担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事は現政権誕生後順調に推移している。今期の公共工事は前年比で県が7%、市町村が8%の増加である。地方業者には有り難く、当社の受注も同5%増で安心している。
	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・年度末の駆け込み納品があり、広告ツール全般に発注が増えている。
	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・出荷量は増加したものの、季節的な要因と考えられる。例年この傾向があり、良くなっているとは考えにくいので、変わらない。
	窯業・土石製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・年度末で細かい物件が増えている。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・特に変化はない。
	輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・この2~3か月は、取引先の様子、受注量、販売量共に、まずまずで変わりがない。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・補正予算の効果が大きくなるかと期待していたが、それほどでもなかった。
	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・現状のドライバー不足により取引先等に運賃値上げを理解してもらえるところが多く出てきている。一方、新年度を迎えるに当たっての新生活商品、白物家電、エアコンなどの輸送量が予定を下回っており、全体的にもやや前年を割っている。
	不動産業(経営者)	取引先の様子	・賃貸物件で、アパートに空き部屋がかなりあるにもかかわらず、次々に新築物件が建てられており、将来の需要も見込めないことから、供給過剰になっている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・企業や団体の業況は全体的に以前と余り変わらない。景気が十分ではないせいか、人手不足感はやや弱まった感がある。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・大きく良くなる、悪くなるようなことは全くないような状況で、代わり映えがしない。安定しているのかというと、一番良い時期と比べると格段に落ちているのでそうともいえない。変わらない。

	社会保険労務士	取引先の様子	・従業員の入退社の動きも少なく、特に変化を感じない。
	その他サービス業〔情報サービス〕(経営者)	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数、受注量共に、特段の変化は見られない。
	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今月は期末なのに余り忙しくない。
	不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・通常、年度末はスポットの清掃等の特別業務が入るが、今年は例年より少ない。その分、売上が減少している。
	x	-	-
雇用 関連 (北関東)	人材派遣会社(支社長)	求人数の動き	・受注が前年比、約2倍と好調である。
	人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・販売、サービス、小売等の求人は若干である。一方、運輸、配送関係は、スタッフの人手不足から継続的な募集傾向にある。全般的に就職や卒業等を含む春物衣料などの衣料品、贈答品、食料品等の購買意欲が上がっているように見られる。公共事業も進むなかで、土木、住宅、道路関係も含めて、活発さがある。
	人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・今までより20%ぐらい売上が伸びているので、最近安定して忙しい。
	人材派遣会社(管理担当)	求職者数の動き	・派遣求職者が少ない上、有料職業紹介は好調なため、やや良くなっている。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・新規の求人数、求職者数共に、前年同月に比べて減少している。有効求人倍率も下がってきている。
	-	-	-
	x	-	-